



## (2) ワークショップ・講演会（長岡）

11月11日（土）、岸博実氏より「盲教育資料はどう活かされてきたか、そして、今後は？」の演題にて盲教育資料の今までとこれからについて講演いただいた。また、同12日（日）に「ほじょ犬のひろば in ながおか」を開催。「障害（者）」に対する多角的な理解を図るべく、身体障害者補助犬に視点を定めたものである。盲導犬や介助犬のデモンストレーションのほか、聴導犬ユーザーの安藤美紀さん・一成さんの講演会を実施。これらにより「障害（者）」に関して様々な知見を提供することができた。



介助犬デモンストレーション



安藤美紀さんの講演

### ※参加者の反応・感想（抜粋）

- ・たくさんの方が補助犬との生活をおくれるように理解がすすむと良いと思います。(60代)
- ・介助犬について知らないことが多々ありました。障害のある方にどんな風にお声がけてよいか、大変参考になりました。(60代)
- ・介助犬について知らないことが多々ありました。(30代)

## (3) ワークショップ（京都）

2月21日（水）、京都府立豊学校において中等部・高等部の生徒を対象としてワークショップを実施した。明治36年の授業風景の写真に写り込む作品を所蔵作品から見つけ出し、また他のさまざまな写真から読み解きをしてもらった。また作品を抽出し、資料室にて展示を行う一連の作業も経験。簡易レプリカを活用して実際に作品を展示する作業を通して、文化財を扱うという意識醸成を図った。



作品・資料の読み解きの解説



資料室でのレプリカを使用した展示作業

### ※参加者の反応・感想（抜粋）

- ・いろいろな写真、絵があって、読み解きが楽しかった。
- ・自分で気づいた所を書き込む事で、初めて見た時よりもその写真の事がよくわかりました。